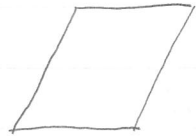


長方形とは ①すべての角が同じ大きさ
 ×向かい合う辺が同じ長さ

向かい合う辺が同じ図形



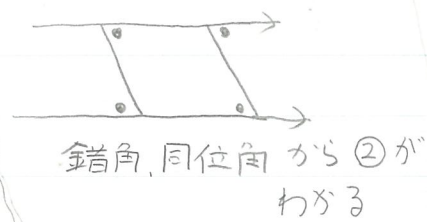
平行四辺形 といふ

- ①向かい合う辺が同じ長さ
- ②向かい合う角が同じ大きさ
- ③向かい合う辺が平行

1つでもみたせば他もみたす。

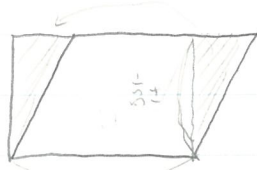
※長方形も平行四辺形

(例) ③なら



錯角、同位角から②がわかる

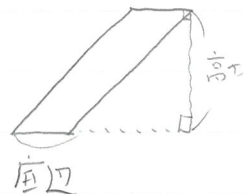
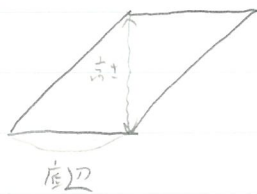
◎平行四辺形の面積



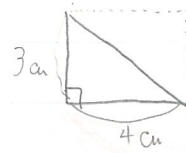
長方形にできる。
(たて×よこ)

底辺×高さ

(底辺... 辺のどれか1つ
 高さ... 底辺に垂直に引いた
 ときのたてのはば)

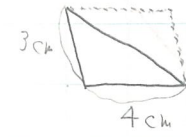


◎三角形の面積

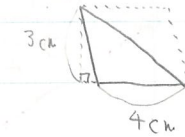


直角なら長方形の半分

$3 \times 4 \div 2 = 6 \text{ cm}^2$



× 分らない



○ 分かる

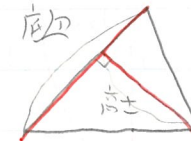
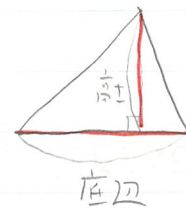
ふつうは平行四辺形になる。
 高さがわかる右の面積は分かる

底辺×高さ÷2

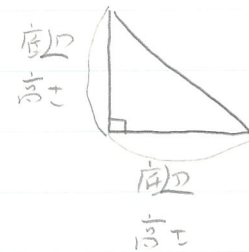
(底辺... 辺のどれか1つ
 高さ... 底辺に他の頂点から
 垂直に引いた線)

重要

底辺と高さは3組ある。

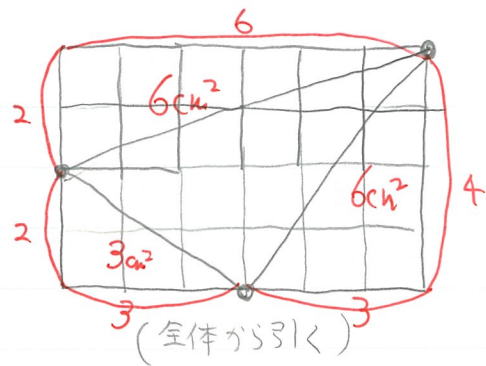


(直角だと2組しかない)

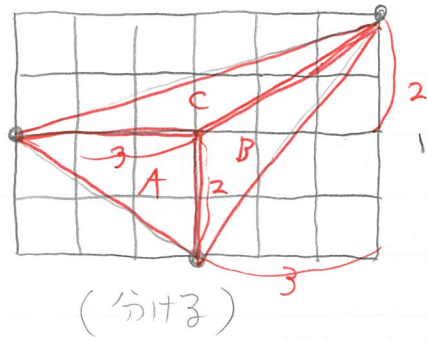


13回 重要問題

P212 ⑨ 2種類のやり方



$$6 \times 4 - (6 + 3 + 6) = 9 \text{ cm}^2$$

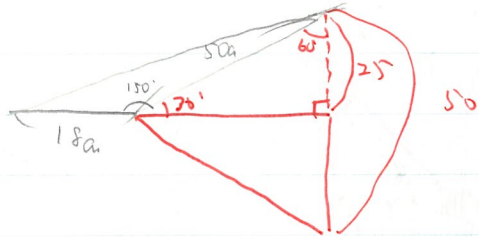


$$\frac{3 \times 2}{2} + \frac{2 \times 3}{2} + \frac{3 \times 2}{2} = 9 \text{ cm}^2$$

P218

⑦ 正三角形になる三角定規

(2)



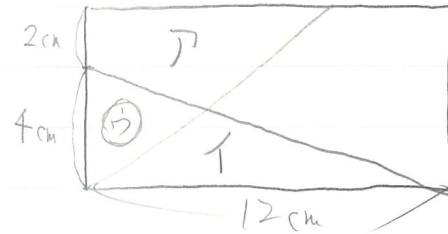
$$18 \times 25 \div 2 = 225 \text{ cm}^2$$

※30°と150°は正三角形が使える。

P220

⑤

共通部分を考える。



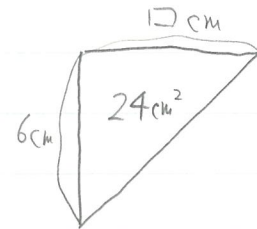
$ア = イ$
ウを両方に足しても等しいのは変わらない

$$ア + ウ = イ + ウ$$

面積が出せる

$$4 \times 12 \div 2 = 24 \text{ cm}^2$$

ア+ウも 24 cm^2



$$24 \times 2 \div 6 = 8 \text{ cm}$$